

総合防災訓練 イザ!カエルキャラバン!

大人も子どもも
見て、知って、
体験する1日



イザ!
カエルキャラバン!
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

11/17(日)13:00~16:00頃
会場 総合体育館(カモンたかいし)
鴨公園

参加無料

イザ!カエルキャラバン!は、例年実施していましたが、津波を想定した水平避難の訓練ではなく、体験型の防災訓練です。

子ども達がゲーム感覚で楽しみながら、おもちゃの交換会「防災体験プログラム」と「かえっこバザール」を通して、消火・救出・救護などの防災知識や技を学べます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

問合先 危機管理課 ☎(275)6245



防災体験プログラムの楽しみ方



「かえっこバザール」とは

1



あそばなくなったおもちゃやアクセサリを持ってこよう!

2



かえっこバンクにもっていくとカエルポイントにかえてもらえるんだって!

3



そのポイントでかいじょうのおもちゃとかえっこできるよ!

4



いろいろな防災プログラムをたいけんしたり、おてっだいてもポイントがもらえるよ!

5



ポイントをためて、かえっこオークションにさんかすることもできるよ!

一般財団法人自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業のうち「消防団育成事業に対する助成事業」を活用し、令和6年度は高石市消防団の現場外套(防火衣)及びヘルメット等の整備を行いました。



想定以上の災害と向き合う時代に。

災害時のトイレ

災害時には、飲食料や衣料の確保とともに、トイレ・衛生対策が重要です。能登半島地震調査によると、発災後3日以内に仮設トイレが設置できた避難所は10%にとどまり、発災当初の避難所のうち90%が携帯トイレを使用したとされています。携帯トイレを含め様々な種類の備えが必要なため、市でも備蓄を進めています。一方で、各家庭でも日頃からの備えが大切です。

災害時の携帯トイレ使用方法

1 ゴミ袋(45ℓ程度)を便座に2重にかぶせる

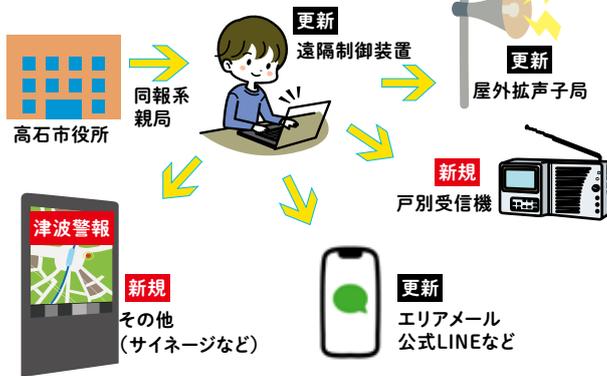
2 用を足す。

3 凝固剤を入れ、内側袋を取り出し空気を抜いて口を強くしぼる。

4 生活ゴミとは分別し、収集まで保管する。

©NPO法人プラス・アーツ+文平銀座

情報発信体制を強化



緊急時の情報発信

市では、災害時における情報伝達機能の強化を図ります。これまで聞き取りにくいとの声もあった防災行政無線に加えて、戸別受信機、デジタルサイネージなどを用いて確実に情報をお届けできるよう情報発信手段の多様化に取り組みます。いずれも令和7年度内の整備完了を予定しています。

市の公式LINEからも情報発信を行っております。▶



臨海部の防災

石油コンビナート等災害防止法に基づき、高石市の臨海部は、特別防災区域に指定されています。

特別防災区域の防災対策は、大阪府、企業、市が協力して行っています。

高石市の臨海部は、日本の産業を支える重要なエネルギー拠点ですが、その一方で、石油タンクや高圧ガスタンクなどの安全に留意すべき設備をもつ施設は災害の未然防止や発生した災害の拡大を防止するための対策が必要です。

令和5年度末までにおおむね対策が完了しており、令和6年度以降はこれまで行った対策の有効性及び実効性を確認することで、対策の見直しやフォローアップを行い、中長期的な取り組みがなされます。また、企業には防災意識や技能の向上に努めていただくため、防災訓練及び防災教育の充実にも取り組んでいただいております。詳しくはWebをご覧ください。



消防

災害時、消防は人命救助や消火活動を行い、安全確保に努めます。また避難誘導や救命救急活動を行い、被災者支援にも貢献します。市民の生命と財産を守るため、迅速な対応が必要となります。市では、堺市消防局と連携し、災害が起こった場合に迅速な対応ができるよう備えています。堺市消防局では、令和6年能登半島地震の際、緊急消防援助隊を派遣し、支援活動を行いました。